

ちは、新幹線を乗り継ぎ福山經由で笠岡駅へ。笠岡駅へ到着すると、笠岡の皆さんが炎天下にも関わらず待っていて下さった。温かくお出迎えいただいた後は、岡山天文博物館と国立天文台岡山天体物理観測所を見学。こちらでは、実際に望遠鏡を覗いてみたり、口径一八八cmを誇る反射望遠鏡を間近で見せていただいた。今年の大使にも星好きが多く、興味深そうに見学していた。天文台を出ると本土を離れ宿舎のある北木島へ。船が始めての子どもも多く、瀬戸内の風を切るスピード感を楽しんでいた。夜は北木島の食堂・港屋でいただいた。出てきた魚介類のほとんどが当日近くの港で捕れたものだそうで、子どもたちは普段内陸で生活していることもあり、新鮮なお魚に舌鼓を打っていた。夜は、北木島宿泊研修所「石切の杜」に一泊。翌日は笠岡の子どもたちとの交流が待っている。

八月五日、派遣二日目。朝ごはんは自分たちで食器を運んで配膳するという、給食のようなものだった。配膳で余ってしまったおかずを残さないよう、皆のお皿に少しずつ分け足していく給食現役の小中学生たちの姿が印象的だった。ご飯を食べ終えると今度は飛島へ。飛島の港に着くと、岡山龍谷高校や大島中学校の皆さんの元気いっぱいな姿が！各校の皆さんとの交流も今年で三年目となる。また福島などから笠岡へ移住された皆さんも待っていて下さった。各々に自己紹介をして、早速皆で海へ。浮袋に乗って海を散歩したり、綺麗な貝を集めたりと海を満喫

しているようだった。そして毎年恒例の海へのジャンプも。福島の子どもたちにも、勇気を出して飛び込む子どもがいた。海から上がると、飛島の皆さんの手料理や大島おやじの会の皆さんのバーベキューが待っていた。暑い中にも関わらず、お腹いっぱいになるまでご馳走してさった。

ご飯のあとは、子どもひまわり大使たちが福島の現状について発表をした。少し難しい内容もあったものの、皆一生懸命に聞いてくれた。その後はこちらも恒例となったドッジボール大会。学年も地域もバラバラ、大人も混ざった二チームの対抗で、福島の小学生が大活躍していた。これが終わると、大島中学校の皆さんや移住家族の皆さん、飛島の皆さんとはお別れ。龍谷高校の皆さんは、一緒に北木島で一泊するため、共に北木島へ向った。夕食は前日に引き続き、港屋にて。この日も新鮮な食材を使ったお料理をご馳走していただいた。また、港屋のご主人が海ほたるを捕まえるための道具を準備して下さいました。それを使って浜辺で海ほたるの観察を行った。幻想的に光る海ほたるに皆感動していた。宿舎へ戻ると花火大会や、星空観察会をした。どこか緊張気味だったそれぞれの子どもたちも夜にはお菓子パーティなどをして楽しく交流していたようだ。

八月六日、朝食は同じく給食のような形で、福島の子ども達を中心に協力して皆で配膳していた。朝食を終えると船に乗り、本土へ。本土に戻ると干拓地を見学した後、岡山龍谷高校を訪



▲笠岡のひまわりフェスティバルで感謝を述べる子どもたち。



▲笠岡のみなさんと子どもひまわり大使。今年もお世話になりました。

問した。ご当地キャラクターのラマチックくんも駆けつけてくれ、まずは皆で笠岡ラーメン作り体験をした。ダシもチャーシューも鶏という、どこか懐かしい味のラーメンだった。

食事のあとは、福島の子どもたちの二度目の発表を行った。一度目より落ち着いて発表することができたようだ。その後は龍谷高校太鼓部の皆さんや、大正琴の得意な学生さんの迫力ある演奏を披露していただいた。ここで龍谷高校の皆さんとはお別れし、一昨年の大使たちが植えた福島の県木・ケヤキの木を見に行つた。木を植えた時にも大使として参加した子どももおり、すくすくと成長している様子に喜んでた。そして説明のたきながら古墳公園を見て回り、その後は土倉記念館へ。岡

まわり畑へ。ひまわりフェスティバルへの出演が待っている。会場へ着くと、大島中学校の皆さんが待っていてくれた。時間になると、子どもひまわり大使、大島中学校の皆さん、パークシヨンの皆さんがステージ上へ。まず、子どもひまわり大使たちが

すると見えなくなるまで手を振ってくださった。もつと笠岡にいたい！という子どもたちの声を聞きつつ、新幹線を乗り継ぎ、無事家族の待つ福島へと帰ってくるのができた。

感謝を伝え、と向かった子どもひまわり大使だったが、笠岡の皆さんの温かい歓迎を受け、更に感謝の気持ちでいっぱいになる旅だった。企画時点から関わって下さった皆様、当日温かく迎え入れ、交流して下さった皆様に心より感謝申し上げます。

全国ではひまわりの種が実り、収穫の時期を迎えている。ひまわりが繁いだご縁も、顔を合わせての交流を通してより充実したものとなっている。

(笠岡引率・川島)

《栽培報告送付・お問い合わせ先》

NPO法人シャローム
「ひまわりプロジェクト」実行委員会
〒960-8035 福島県福島市本町 5-31
(まちなか夢工房内)
TEL : 024-524-2230 FAX : 024-525-8285
Mail : yukari.k@nposhalom.net (担当 川島)